

会議録

会議の名称	第3回所沢市教育振興基本計画審議会
開催日時	令和5年6月27日(火)午後2時30分～4時30分
開催場所	所沢市役所8階 大会議室
出席者の氏名	中川 瞬、松森 有美、三原 由紀子、古山 智啓、新井 政明、 柏崎 年己、赤堀 侃司、及川 道之、伊東 真吾、小倉 理恵
欠席者の氏名	井上 典之、吉川 英一
説明者の職・氏名	教育長 中島 秀行、教育総務部長 千葉 裕之、 学校教育部長 中田 利明、教育総務部次長 池田 淳、 学校教育部次長 櫻井 誠、社会教育担当参事 糟谷 苗美、 学校教育担当参事 吉川 誠、教育センター担当参事 中村 啓、 教育総務課長 鈴木 健、教育総務課主幹 北村 史恵、 教育施設課長 遠山 秀仁、スポーツ振興課長 三上 佳明、 文化財保護課長 稲田 里織、所沢図書館長 橋本 浩志、 保健給食課長 渡辺 純也、教育総務課主査 名雪 晋祐、 教育総務課主任 新井 航、教育総務課主任 田島 郁美
議 題	1 開会 2 教育長挨拶 3 委員自己紹介(今回初めて出席する委員のみ) 4 議事 第3次所沢市教育振興基本計画素案の検討 5 連絡事項 6 閉会
会議資料	・次第 ・座席表 ・所沢市教育振興基本計画審議会令和5年度事務局職員名簿 ・第3次所沢市教育振興基本計画 素案
担当部課名	教育総務部 教育総務課 電話：04-2998-9232

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局 教育長 各委員 会長	<p>1 開会 2 教育長挨拶 3 委員自己紹介（今回初めて出席する委員のみ） 4 議事 ※傍聴者 1 名。</p>
事務局 会長	<p>第 3 次所沢市教育振興基本計画 素案の説明 目標 1 について意見をいただきたい。</p>
副会長	<p>素案を見て、非常にわかりづらいという印象を受けた。各施策の説明文の記載方法に統一性がなく、計画策定における所属間の意思統一がされていないように感じる。 また、この計画だけを見ても、それぞれの施策が 2 次計画から変更・継続して取り組むものなのか、3 次計画から新規に取り組むものなのかがわからない。</p>
会長	<p>どのように作成すべきか。</p>
副会長	<p>記載する項目を設定し、それに沿って作成してはどうか。 例えば、2 次計画から変更・継続して取り組むものか、または 3 次から新規で取り組むものかが確認できる項目、各年度の点検評価の結果はどのように反映されているかが確認できる項目や、施策の進行状況を確認できる項目などを設定してはどうか。</p>
会長	<p>意見を参考に、わかりやすい計画を作成してもらいたい。</p>
会長	<p>学習指導要領に、学習の基盤となる能力として言語能力、情報活用能力及び問題発見・解決能力が掲げられている。これらの資質能力のうち、すべての教科の基盤となる言語能力について、施策 1 に記載してはどうか。 また、指標「埼玉県学力・学習状況調査における学力レベルの伸び」について、目標値 2. 5、現況値 2. 4 の数字が何を意味するかがわかりにくいと思うので、注釈を入れてもらいたい。</p>
学校教育担当 参事	<p>2 次計画と同様に注釈を入れようと思う。</p>
委員	<p>施策 1 に「個別最適な学びを選択できる環境を充実させていく」</p>

<p>学校教育担当 参事</p>	<p>とあるが、選択制の授業を行うのか。または、先生が児童生徒それぞれに適した教育を行うのか。</p> <p>また、情報活用能力について、現在もプログラミング学習は行っていると思うが、今後は情報モラル・情報セキュリティに関する学習も行う予定か。</p> <p>施策2について、幼稚園と保育園では学習内容に違いがあると思うが、今後は学習内容を統一して学習の土台を作るのか。</p> <p>選択制の授業を行うのではなく、個々の特性に応じた教育を行うものである。</p> <p>プログラミング学習は現在も技術科の授業で行っており、今後も引き続き行う。</p> <p>幼稚園・保育園と小学校は常に連携し情報交換をすることで、小学校でのスタートをスムーズに切れるようにしている。</p>
<p>委員</p>	<p>学力の育成とは数字で表すものだけを指すのか。</p> <p>施策1について、1人1台情報端末が配付されているが、小学1年生が実体験のないままに画面上で学ぶのではなく、実際に土を触ることや、花の香りを嗅ぐなどの体験をした上でICT機器を活用して学ぶようにしてもらいたい。</p> <p>施策2について、小学校に入学して人の多さや建物の大きさを怖いと感じる子どもがいると聞いている。幼稚園・保育園で、入学前に近くの小学校を見に行く機会を作ってはどうか。</p>
<p>会長</p>	<p>確かな学力の育成には、ICT教育や体験学習など様々な分野の教育が必要である。各分野については施策2以降に詳しく記載されているが、施策1でも記載する必要があるか、検討してもらいたい。</p> <p>続いて目標2について意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>学校図書館における図書の貸し出し冊数を指標としているが、今後電子書籍が増えることにより、本の貸し出し数は減少するのではないか。学校図書館では電子書籍についてどう考えているか。</p>
<p>所沢図書館長</p>	<p>この指標は学校図書館における指標であるが、現時点で電子書籍については、市の図書館での導入は進んでいない。</p>
<p>副会長</p>	<p>施策3では、道徳教育の充実や読書活動の推進などに取り組むようであるが、図書の貸し出し冊数が指標となっていることに違和感がある。「主な取組」として「道徳教育の充実」と「読書活動の推進」を並記することに疑問を感じる。道徳教育と読書活動とが緊密に繋がることを示すこととなり、一人ひとりの子どもたちが自由に</p>

	<p>本を手にする機会となる「読書活動」の本来的意義が損なわれるのではないか。</p> <p>施策4の主な取り組みに『「命の大切さ」を理解する教育の充実』とあるが、『「命の大切さ」が実感できる教育の充実』のほうが相応しいのではないか。</p>
会長	<p>施策2-1に図書館について記載があるが、施策3と連携できないのか。</p>
所沢図書館長	<p>施策2-1は市の図書館に関するものである。学校図書館とは異なる法律に基づき運営しているため、施策も別に設定している。</p>
委員	<p>指標「いじめの認知件数に占める、いじめが解消しているものの割合」の説明文に「4月から9月までの認知件数」とあるが、4月から9月に設定している理由がわからない。注釈をつけて説明してはどうか。</p> <p>施策4に「過去に生徒の命に関わる重大な事案が発生」とあるが、当該生徒に近い人が「過去に」という言葉をどう受け止めるかをよく考えるべきである。例えば「以前」や「重大な事案が発生した経緯があります」などに書き換えてはどうか。</p>
会長	<p>意見を反映して作成してもらいたい。</p> <p>続いて、目標3について意見をいただきたい。</p> <p>心身のみでなく、社会的にも健康な状態を指す「ウェルビーイング」について記載してはどうか。</p>
委員	<p>新体力テストにおける上位ランクの児童生徒の割合を指標としているが、施策6に「体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず共に学ぶことができる体育活動」と記載するのであれば、目標1の学力レベルの伸びと同様に、個々の伸びを指標としてはどうか。</p>
学校教育部次長	<p>学力調査では個々の学力の伸びを測ることができる。新体力テストでは種目別には伸びを測ることが可能だが、総合結果の伸びを測ることは難しいかもしれない。</p>
副会長	<p>学力は伸びであるのに、体力は上位を目指すことを指標とするのはなぜなのか。整合性をとる必要があると思う。体力も伸びでいいのではないか。</p>

<p>スポーツ振興 課長</p>	<p>指標の設定について検討します。</p>
<p>会長</p>	<p>現在の教育課程は個に応じた指導を重視しているため、個の体力の伸びを指標とすべきではないか。検討してもらいたい。</p> <p>続いて、目標4について意見をいただきたい。</p> <p>施策8で、しなやかな心を育む「レジリエンス教育」について記載してはどうか。</p> <p>一般市民の方に定着していないと思われる「STEAM教育」には注釈を入れてもらいたい。また、「DX」は省略前の「デジタルトランスフォーメーション」も追記してはどうか。</p> <p>STEAM教育は一般的には「教科横断的な学習」という意味があると思うので、補足してはどうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>施策8に「社会的な価値」とあるが、社会が必要とする価値という意味か。</p>
<p>学校教育担当 参事</p>	<p>社会が必要としている価値という意味である。</p>
<p>副会長</p>	<p>社会から要請される価値を創造する担い手としての役割を、教育の場で児童生徒に求めるのは、児童生徒にとって非常に過酷であると感じる。</p> <p>施策9に「自らが持続可能な社会の担い手として」で始まる文章について、主語はすべて児童生徒であるのか、または途中からは教える側が主語となるのか。</p>
<p>会長</p>	<p>指標「特色ある学校づくり支援事業で活用した地域人材の人数」について、現況値の3,761人に対し目標値は6,110人としているが、この目標値とする根拠は。</p>
<p>委員</p>	<p>現況値はコロナ禍以前よりも少ない数字になっているのではないか。コロナ禍以前の数値がわからないと、目標値が妥当かどうかの判断ができない。</p>
<p>学校教育担当 参事</p>	<p>目標値はコロナ禍以前の人数を基に設定したものである。</p>
<p>会長</p>	<p>目標値の根拠を説明するために、注釈を入れることを検討してもらいたい。</p> <p>続いて、目標5について意見をいただきたい。</p>

委員	<p>施策11のインクルーシブ教育について、現状は、障害がある子どもが特別支援学校ではなく、通常の小中学校に通うことがゴールになっているのではないかと。人的支援が十分でないことで、日常生活を共に過ごすことができず、大きな行事のときのみ障害のある子と障害のない子が接点を持つようでは、互いに学び合うことはできないと思う。給食の時間などを日常的に共に過ごせるような環境を整備してもらいたい。</p>
委員	<p>不登校児童生徒の割合を指標としているが、登校の定義は。</p>
学校教育担当 参事	<p>朝から夕方まで教室にいることを登校としているのではなく、相談室や保健室などへの登校も、登校として扱っている。</p>
会長	<p>続いて、目標6について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>家庭教育関連事業の参加者数の指標について、講座は平日昼間のみで開催されているものが多いと思う。今は多様な働き方により、平日昼間のみで開催では参加できない方もいると思う。オンライン講座でアーカイブ配信を行うことや、休日に開催することなどを検討してもらいたい。</p> <p>また、指標「ICT機器を使って、子どもたちの新たな学びを実現するスキルを持った教員の割合」について、ICT機器を活用することで子どもたちが多くの情報を目にすることとなり、情報を取捨選択することが必要になると思う。子どもたちに対してICTリテラシー教育を行うことも含んでももらいたい。</p>
会長	<p>所沢市は欠席した子どももオンラインで授業が受けられるように授業風景を配信することや、情報端末を持ち帰り家庭でも使用できるようにすることなど、情報端末を活用した取り組みを行っていると感じている。これらについても記載してはどうか。</p>
委員	<p>施策15に「学校や教職員が優先して対応すべき業務を厳選し、保護者や地域に対して、学校における業務と、家庭や地域で分担すべき役割について理解してもらうよう働きかける」とあるが、家庭や地域の役割を実際に担うのはPTAなのか、各家庭なのか。共働き世帯が増えていることにより、PTA役員のなり手が少ない状況で、役割を担うのは大変であると感じる。</p> <p>施策16に「PTAそのものに対する意識改革」とあるが、任意加入団体であるはずのPTAへ、強制的に加入させるという意味に捉えられてしまうのではないかと。</p>

委員	<p>プールの授業では、まず服の着替え方や畳み方を教えているそうだが、本来は家庭で教えるべきではないか。PTA役員が教職員に代わって学校の仕事をするというのではなく、家庭で教えるべきことは家庭で教えようということなのだと思う。</p>
会長	<p>続いて、目標7について意見をいただきたい。</p>
副会長	<p>施策18に「学校安全」とあるが、一般的に使用されている言葉なのか。</p> <p>また、『学校「や」登下校における』や、『登下校中の交通事故「や」児童生徒が…』のように、「や」で接続すると、複数あるうちの一つという意味に捉えられてしまう。例えば、「加え」や「及び」などに書き換えるといいのではないか。</p>
会長	<p>続いて、目標8について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>意見なし。</p>
会長	<p>続いて、目標9について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>施策23について、スポーツに興味がない市民にもスポーツを実施してもらうため、スポーツを始めるスタートラインに立たせる働きかけは検討しているか。</p> <p>施策25に「障害者スポーツのゴールボール」とあるが、ゴールボールは障害者が行うスポーツと捉えているのか。障害者と健常者のどちらも参加できるスポーツなのではないか。</p>
スポーツ振興課長	<p>スポーツに興味がない市民への働きかけについては、多様な働き方に合わせ、平日夜間や休日にイベントを開催することを検討する必要があると考えている。</p> <p>ゴールボールは障害者に限定したスポーツではないと考えている。今後も子どもたちを対象としたゴールボールの体験会を行い、障害への理解を深めてもらいたいと考えている。</p>
委員	<p>普段スポーツを行わない市民への働きかけは非常に難しく、試行錯誤が必要だと思う。</p> <p>施策25に、健常者と障害者が一緒に取り組めるスポーツについて具体的に記載してはどうか。</p>
会長	<p>続いて、目標10について意見をいただきたい。</p>

委員	<p>施策26に「郷土資料等を良好な環境で一元管理し、後世に伝えていくための保存施設の整備を進めます」とあるが、どの程度の規模の保存施設を整備することを計画しているのか。</p>
文化財保護課長	<p>規模について、現時点で具体的な数字を示すことはできないが、現在市が所蔵する約3万点に及ぶ「ふるさと所沢」関連資料に加え、所有する市民から代替わりなどで管理できなくなったため市に寄贈したいという要望も増えており、これらの資料を受け入れ、将来の所沢市に引き継ぐ役割を担うことのできる規模が必要だと考えている。</p>
会長	<p>全体について意見があれば伺いたい。</p>
委員	<p>目標3の指標「むし歯の処置率」について、むし歯を処置することではなく、予防することを重視したほうがいいのではないか。</p>
保健給食課長	<p>中教審が取りまとめた次期教育振興基本計画を参考に設定した指標である。また、2次計画にも掲げている指標であるが、目標値を達成できなかったため、再度設定するものである。</p> <p>予防については、食育の観点から教育を行っている。</p>
委員	<p>施策25に「パラスポーツ」という言葉を追記してはどうか。また、「障害者に対する理解」とあるが、「障害に対する理解が」のほうがいいのではないか。</p>
委員	<p>施策2の学校段階間の連携について、情報共有を行っている学校の数を指標として設定してはどうか。</p>
学校教育担当 参事	<p>2次計画では指標を設定していないが、現在も学校段階間の情報共有は行っている。</p>
委員	<p>初めて教育振興基本計画を見た身からすると、何をどう見たらいいのかがわかりにくく、読みづらいと感じた。</p>
会長	<p>市民にわかりやすく伝えるための工夫をし、市民の目をひく計画を作成してもらいたい。また、計画には品格が必要であると考えている。国や県の動向と齟齬がないことは勿論、市民が読んでもわかりやすい計画を作成してもらいたい。</p>
事務局	<p>5 連絡事項 6 閉会</p>